

令和3年度第2回国分寺市地域福祉推進協議会 議事録

日時：令和4年2月28日（月）

午後2時～午後3時10分

会場：cocobunjiプラザ リオンホール

出席委員 39人

事務局 地域共生推進課長（栗原），地域共生推進課地域づくり担当係長（渡部）
地域づくり担当係員（米田・松井（宗））

次第

- 1 国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）」及び「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）に対する国分寺市地域福祉推進協議会の意見・感想と市の考え方」について【資料1】
- 2 1年間の活動の振り返り及び今後の取組について【資料2及び資料3】
 - ・個人の市民 櫻井 幹三 委員
 - ・認定特定非営利活動法 冒険遊び場の会 岩田 真由美 委員
 - ・国分寺市国際協会 押味 亜希子 委員
 - ・特定非営利活動法人 健康スマイル 若月 照美 委員
 - ・株式会社エス・リンク 田中 英之 委員
 - ・株式会社エス・リンク 小見 秀一 委員
 - ・社会福祉法人 はらからの家福祉会 作道 康介 委員
- 3 令和4年度国分寺市地域福祉推進協議会委員への御継続及び候補者の御紹介について

資料

- 【資料1】 「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）」及び「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）に対する国分寺市地域福祉推進協議会の意見・感想と市の考え方」
- 【資料2】 令和3年度「委員自己紹介・取組シート」集（年度末）
- 【資料3】 今後の取組（地域別）

開会 午後2時

開会あいさつ

原会長より開会の挨拶を行いました。

1 「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）」及び「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）に対する国分寺市地域福祉推進協議会の意見・感想と市の考え方」について 【資料1】

事務局（米田地域づくり担当職員）より、資料1について説明しました。16ページまでが「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）達成状況評価報告書（平成30年度～令和2年度）」です。併せて17ページ及び18ページは、「国分寺市地域福祉計画実施計画（中期）進捗状況評価（案）平成30年度に対する国分寺市地域福祉推進協議会の意見・感想と市の考え方」として、昨年提出いただいた地域福祉推進協議会の意見・感想及び市の考え方をまとめたものです。

2 今年度の取組の振り返りについて【資料2及び資料3】

会長：続いて次第2「1年間の活動の振り返り及び今後の取組について」でございます。これが、本日のメインの発表となります。始めに事務局から資料説明をお願いします。

事務局：資料2及び3について御説明いたします。資料2は、1年間の活動の振り返り及び今後の取組を取りまとめ、年度末のシート集となっております。資料3は、資料2シート集にある今後の取組に向けた御意見につきまして、3つのテーマごとに整理させていただきました。参考にしていただけますと幸いです。これから6人の委員より御報告をいただきます。次第にありますとおり、資料2シート集のページと、カラー刷りパンフレット番号を御参照ください。以上です。

会長：それでは、次第2、6人の委員の皆様によるリレートークを始めます。1年間の活動を振り返っての思いや課題と感じていること、今後の取組を展望して、などについて御発言をいただきたいと思っております。お一人8分以内でお願いします。トッパーは櫻井 幹三委員、シート集は8ページです。よろしくをお願いします。

櫻井委員：皆様、こんにちは。今、8分というお話がありましたが、当初は5分と聞いていました。今朝は10分になって、今、また8分が変わった。非常に変化に富んだ時代にふさわしい変更でありまして、私も、これに合わせて一生懸命やろうと思ひ、今日は、このストップウォッチを持ってまいりました。8分、今からスタートいたします。

私は、高木町で「ひだまりの会」として、健康維持と、楽しく年を重ねて過ごしていくことをテーマに活動しており、10の筋トレの運動をしております。2016年から始め、この週末を迎えますと6年間続けてきたこととなります。ここ2年間は、コロナに大変影響されまして、思ったような活動が難しい状況でした。今年になり、再開したところ、私どもの会員は少ないのですが、なんとまあ、8割が出席してくれました。その中で驚いたことに、私ども年齢層は高いのですけれども、元気を失っている状況が見られました。以前に、そうしたことはなかったのです。

私は、みんなで集まって活動することが大事との思いを強く持ち、また、令和4年度の活動内容を悩んでいるとき、国分寺市の高齢福祉課から、『フレイル予防講座』参加のお誘いがありました。これは渡りに船というやつで、参加しましたところ、期待どおり、大変示唆に富んだ素晴らしいお話を伺いました。

まず、フレイルとは何かの説明がありました。皆様は御存知だと思いますが、体や心の機能の低下によって要介護に陥る危険性が高まっている状態、こういうことをフレイル化といいます。また、講習の中で、私の考えるフレイルについてお話をする機会がありました。講座で使用したテキストは、大変分かりやすく書かれておりまして、テキストに沿って説明することができました。これをもとに、令和4年度は、このフレイル予防を活動テーマに取り入れようと考えています。

フレイルの予防に必要なことが三つあるそうです。一つは、今、私どもがやっている筋肉トレーニング、それから歩くことも大事ですが、二つには、栄養のある、10のバランスのとれた食事、三つには社会参加、これらが全部、この三つの大事なことに書いてある。そして社会参加とは何か。私どもは、10時から12時まで活動しており、最初の1時間は筋トレ、後半の1時間はお茶やコーヒーを飲んだりしながら、いろいろなお話をします。話し合いにだけ来る人もいます。筋トレも、話し合いも大事と呼び掛け、参加してくださっています。非常にありがたい話です。ですから、継続することが重要です。また、フレイルになる最大の原因は、家に閉じこもって外出しないことです。ちょっと買い物に行き、お店の人や偶然会った友人と会話する。老人会などでいろいろなサークル活動に参加する。どれも社会参加です。このテキストには、こうしたフレイルの説明や予防の方法が詳しく書かれており、国分寺市の高齢福祉課の

皆さん方は、非常に頑張って、この冊子を私どもに提供してくれています。

令和4年度は、私どもの会員でこの予防法を実践させていただき、来年の今頃には、これだけ効果があった、と報告させていただけるよう頑張っていきたいと思っている次第であります。また、我々が頑張ることに加え、市の施設で活動しておりますから、市の御協力や、地域包括支援センターひかりの皆さん方の御支援が大事だとつくづく感じております。そういう方々の御協力を得て、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。以上、7分30秒でございました。ありがとうございました。

会長：櫻井委員，ありがとうございました。何かご質問等はございますか。続きまして、認定特定非営利活動法人冒険遊び場の会の岩田真由美委員，シート集は47ページ，パンフレットは①です。よろしく願いします。

岩田委員：皆さん，こんにちは。認定NPO法人冒険遊び場の会の岩田真由美です。どうぞよろしく願いいたします。私たち冒険遊び場の会は、たっぴりと豊かな遊びをコンセプトに活動しております。子どもたちの豊かな遊びを保障するために、遊び場を守る，つくる，子育てを応援する，子どもたちがのびのび自分らしく過ごせる場所づくりを目指しています。会の活動概要を記載したチラシや，1月から始めました新事業のチラシがありますので，よろしければご覧下さい。

これから，私が所属する「BOUKENたまご」の活動についてお話しします。国分寺駅前にある「BOUKENたまご」は，東部地区の拠点親子ひろばとなっており，0歳から3歳くらいのお子さんとその保護者の方の子育てを応援するひろばです。孤立しがちな乳幼児とその保護者及び妊婦の方が安心して立ち寄り，遊びと交流ができる場所を目指しています。

コロナ禍で，今までの暮らしが一変しました。親子ひろばも開催に当たり，スタッフの健康管理をはじめ，消毒方法や消毒しやすいおもちゃを増やすなどの工夫を行いました。月曜日から金曜日の毎日，1時間20分ずつの3部入れ替え制で人数を制限し，開催しています。また，安心して利用してもらえる場として，屋外である公園での遊び場づくりを考えました。これまでの経験を活かして，密を避けたい人も利用しやすい，好きな時間に来て帰ることができる，スタッフがいて少し安心できる，などをモットーに，スタッフが毎日砂場の道具を持って公園に出かけ，「ふらっとたまご」として展開しています。初めての方，外遊びをしたことがない方に向けて，月1回の「外あそびはじめまして」では，一緒に外遊びを楽しむ取組を進めています。

また，「BOUKENたまご」では，子育て相談ができる場として，週2回「カウンセラーのいる日」，週1回「助産師のいる日」，年6回遊びながら発達に専門家に具体的な相談ができる，ちょこっと気になる「チョコの日」があります。ひろばに来て，悩んでいるのは自分だけではないと安心していただけの方が，コロナ禍で外出を自粛し，ネット上での膨大な情報の中から判断することは難しく，混乱や戸惑いが広がっていると感じています。ひろばの利用制限や検診の個別受診により，ほかの子の様子を見る機会が減り，見様見真似が難しく，いろいろな子がいることに気づきにくいので，育児書との違いに不安が増している状況があります。また，在宅勤務により増加したストレスの要因として，食事の用意など家事負の増加，生活音の制限による負担感，在宅の夫の少ない家事負担，などの相談がありました。

育児という営みは，見通しが持ちにくく，日々の苦労を励まし合う普段のおしゃべりのひと時が，とても大切だと気づかされました。話ができる場で，堰を切ったように次々と話が続く方もいらっしゃいました。コロナ禍でも，子育て子育ては，変わらず続きます。私たちスタッフも，変化に戸惑い，試行錯誤の日々を過ごす中で，子育て支援，拠点親子ひろばについて考え直す機会になりました。私たちは，これからも「ようこそ」と利用者を迎え，受け止め，親子で安心して過ごせる雰囲気づくり

を心掛け、子どもたちの成長と一緒に見守っていきたいと思います。そして、いつも変わらずにそこにあること、困ったら寄ってみようと思える場所であることを大事にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

会長：岩田委員，ありがとうございました。何かご質問等はございますか。続きまして、国分寺市国際協会 押味亜希子委員，シート集は17ページ，パンフレットは②です。よろしく申し上げます。

押味委員：皆さん，こんにちは。国分寺市国際協会事務局の職員をしております押味と申します。私は皆さんの前でお話しするのは，すごく緊張しますので，しっかり原稿を作ってきました。こちらでお話しさせていただきます。シート集17ページをご覧ください。

国分寺市国際協会は，会員一人ひとりの創意と工夫によるボランティア活動を通して，外国の方々との交流を深め，相互理解を図り，国際平和と親善に努めることを目的として1991年に設立されました。現在会員は約300名です。

日本に住む外国人は「ことばの壁」「制度の壁」「こころの壁」の3つの壁があると言われています。日本語は世界でも難しい言語の一つと言われており，文字の種類はひらがな，カタカナ，漢字があり，漢字は読みが分からなければ辞書も引けません。日本語をあまり話せない外国人は，十分な情報を入手できず，また，制度を知らずに必要なサービスを受けられなかったり，文化や生活習慣の違いから誤解が生じ，分かり合えずに衝突してしまうこともあります。そこで，三つの壁を少しでも低くすることが重要です。国際協会では，この三つの壁を少しでも低くするために，様々な活動をしています。

本協会では，ボランティア会員が主体となり，五つの部会に分かれて様々な活動をしています。日本語教室や子どもへの日本語学習サポート，通訳，翻訳活動をはじめとした外国人支援活動，国際理解・交流活動として，国際交流フェスタや各種交流会，国際理解講座，語学教室など，そのほかにも会員の自主活動としてサークル活動などもあります。全ての活動をご紹介しますと，時間が足りなくなってしまうので，いくつかの活動について紹介します。

まず初めに日本語教室です。外国人が生活するために必要な日本語の支援をしており，三つの教室があります。日本語を学ぶだけではなく，特別授業として，端午の節句，七夕，書初め，ひな祭りなどの季節の行事を行っています。コロナ禍の中で，オンラインと対面の併用で実施しています。親子日本語サロンは，親子で参加できる日本語教室です。コロナ禍でいずみ児童館が利用できないため休室中ですが，お子さんがいる外国の方から交流を希望する声が多く，オンラインでおしゃべりサロンを実施，11月からは対面で開催しています。

また，外国にルーツがあり，日本語が分からないために授業についていけない子どもたちのため，小中学校に日本語支援サポーターを派遣しています。週1回1時間ほどのペースでサポーターが小中学校へ行き，日本語学習支援をしています。ほかにも，恋ヶ窪公民館主催で行われている，外国にルーツのある小中学生の学習支援教室「こいがくぼ国際教室」の運営に協力し，月3回で各2時間の教室を開催しています。この教室では，学校の宿題などをサポートしています。

コロナ禍により，2020年初めごろは，本協会もほとんどの活動を休止しました。しかし，家族から離れて生活している外国人も多く，会社や学校以外に知人がいないという方が少なくありません。また，テレワークなどにより孤独を感じる方も多く，なんとかつながりを維持するため，オンラインも取り入れながら活動を再開しました。手探りのオンライン導入を進める中で，オンラインでの活動に壁を感じる方も多くいらっしやいましたが，オンライン利用に詳しい会員の方がサポートしたり，会員向けにZOOM活用講座を開催するなど，オンラインへの壁を少しずつ低くしていきまし

た。

オンラインは、移動せずに気軽に人とつながることができるとても便利な手法ですが、「関係を築く」ことが難しいという悩みもあります。外国のママさんたちのためのおしゃべりサロンをオンラインで実施しました。初めて会う人同士がオンラインで交流し、関係を築くことに難しさがあり、対面での交流に切り替えたところ、すぐに参加者同士で連絡先を交換し、LINEでグループを作るなど、お互いに連絡を取り合うようになりました。

毎年、外国人への日本語指導に必要な技術の講習会を開催し、本協会の日本語教室で活動してくださる方の参加促進も目指しています。昨年度は、オンラインにより、コロナウイルス感染防止の面で安心して開催することができましたが、例年に比べて、講座終了後の活動につながる方が減少しました。今年度は、対面開催を予定していましたが、感染急拡大により今年度もオンライン開催となりました。そこで、次の活動へつなげていくため、講師からの講義のほか、実際に活動しているスタッフとの交流時間を多めに取るなどの工夫も行っています。この講座は、先週の土曜日から始まり、3月中旬に終了しますので、工夫が功を奏すかはまだわかりません。

私たちは、地域の多文化共生をキーワードに、地域に住む外国人への支援や地域に住む外国人との交流を進めています。オンラインでの活動を始めたことで、近畿、四国、そして海外からも日本語教室に参加したいとの問合せがありますが、互いの顔が見える関係を大切にしていくために、対面による活動に戻していく際には、教室に通える方のみを受け入れることにしています。

コロナ禍により、人と会うことが制限される中で、日々試行錯誤をしながら活動を継続しています。コロナが収束し、会員の皆さんでお茶を飲みながら交流できる日が待ち遠しいという話をよくしています。地域での活動は、会って、話して、触れ合っていて、人の温かさを感じられることが大切ではないかと思えます。以上です。ありがとうございました。

会長：押味委員、ありがとうございました。何かご質問等はございますか。続きまして、特定非営利活動法人健康スマイルの若月照美委員、シート集は42ページ、パンフレットは③です。よろしくお願いいたします。

若月委員：皆様、こんにちは。健康スマイルの若月です。特定非営利活動法人健康スマイルでは、国分寺市介護予防の総合事業、通所型サービスBの受け皿としてスポーツや文化、芸術を楽しむことにより介護予防や健康づくりを進めることを目的に、多数の教室を開催しています。お手元の青いパンフレット③のとおり、月曜から日曜までの毎日、午前と午後に分けて、講座1コマで概ね1時間半から2時間ほどの13講座ですが、ほかにも「俳句教室」、「女性コーラス」、「書道教室」などがあります。現在、1週間の参加者は、延べ200人ほどです。開催場所は、国分寺駅北口から多摩湖線を渡り、国分寺診療所の先にある三多摩医療生協のホールを拠点に、いろいろな講座を開催しています。

要支援の方々の参加のほかに、介護予防の観点から、元気な高齢者が多彩なプログラムにたくさん参加しています。「健康体操」や、日曜日の午前中に開催する「健康麻雀」、2021年4月からは新たに、「つるし飾り」、「安来節どじょうすくい」、そして月曜日の「体操教室」の三つの教室を新設しました。また、「ホリデーウォーキング」といって日曜日にウォーキングを楽しむ会、不定期ですが歌声広場「ふきのとう」を開催しています。

2021年度は3回にわたる緊急事態宣言の発令により、開催場所の閉鎖を余儀なくされ、活動の継続が困難な1年でした。基本的なコロナ対策として皆様もされておられる、マスク着用、体調の確認、体温測定、手指消毒、密の回避、適切な換気、器具消毒など、試行錯誤を経ながら、万全な感染予防対策を講じて教室を開催しています。

ほかにも、囲碁教室では対面対局専用のパーテーションを購入して設置し、談話自粛や全ての用具消毒を行っています。参加人数の多い体操教室は、1クラスを半分にして2コマに分け、時間短縮により密を避け、感染予防に努めています。しかし、不特定多数が参加し、飛沫拡散の可能性が高い歌声広場などは、この2年間全く開催できない状況です。

この1年間、数回にわたり会場自体を閉鎖した時期がありましたが、現在は各教室の判断に委ねています。オミクロン株によるコロナウイルス感染者は増加したままで、感染予防の観点からは一時停止するのが安全策と思われるのですが、コロナ禍における高齢者の健康維持に向けた取組の必要性を強く感じ、開催を継続しています。私は、体育大学を卒業後、体操指導者として活動しており、このコロナウイルスの感染対策が始まった2年前からは、国分寺市の地域センターで、先ほどの方のお話しにもありましたフレイル予防教室を開催しています。フレイルのお話しを少しさせていただき、特に筋トレを中心とした運動を行っています。コロナ禍ということもあり、このフレイル予防教室の参加者は多くありませんが、参加して下さった方は意識が高く意欲的で、御自身でフレイル予防に取り組み始めた方もたくさんいらっしゃいます。

今後の取組に関しては、安全第一にコロナ禍に合った活動を模索しながら、フレイル予防、認知症予防を念頭に地域の人々とのつながりを大切に活動を続けていきたいと思っております。それから最後になりましたが、この国分寺市総合事業のサービスBの受け皿となっておりますが、そちらからの参加者は残念ながらおりませんので、よかったですらサービスBとしてご活用くださればと思います。以上です。ありがとうございました。

会長：若月委員、ありがとうございました。何かご質問等はございますか。

委員：たまたま、さわやかプラザもとまちで、歌声サークルさわやかというのを今年はずっとやっておりまして、2回、緊急事態宣言のときだけ中止にしました。一応、基準に従ってスクリーンをつけたり、人数を制限したりして開催しました。会場の制約などの事情かもしれませんが、その辺については、やはり危ないから止められたのでしょうか。いかがだったのでしょうか。

若月委員：マスクやフェイスシールドをした上で、歌の先生の前にはパーテーションを置くのですが、場所があまり広くないため、参加者の間には置くことができません。一方で、参加可能人数の設定が難しく、また人数調整により来場者が参加できなくなることには疑問があり、まだ開催できていない状況です。

委員：ありがとうございました。非常によくわかりました。

会長：おそらく、どなたも関係あると思いますが、コロナ定員ができて、それぞれのルームの新定員がつくられてしまいました。先般、一部は緩和されましたが、依然として通常とは違う定員制になっているかと思っております。定員の関係でできないということではないかと思っております。他にございますか。続きまして、株式会社エス・リンクの田中英之委員、小見秀一委員、シート集55ページ、パンフレットは④です。よろしく願います。

田中委員：皆様、こんにちは。株式会社エスリンクの田中と申します。最初にお話された櫻井さんにネタをとられてしまったのですけれども、私たちも今朝、時間が延びますという話がきまして、二人で話をする予定だったのですけれども、どうしようかという話になりまして、ここにストップウォッチを用意したのですけれども、先ほどされていらっしゃるだったので、どうしようかなと思っているのですが、一応やります。

エスリンクという会社は、もともとは教育サービスを提供する会社として国分寺市ではないところで事業を行っておりました。コロナの発生により、教育分野においては、一斉休校や様々な影響がありまして、今後について迷っていた中で、ピンチのときこそチャレンジだということで、福祉事業を始めようということで事業計画を進めました。その際、現在弊社で運営している「居宅介護支援事業所こみっと」管理者である小見と出会い、準備を進める中で、2020年9月に国分寺市に事業所を移したという経緯がございます。

2020年11月より「居宅介護支援事業所こみっと」をスタートさせていただきまして、昨年4月に市役所を訪問した際に、偶然、こちらの地域福祉推進協議会の存在を知りました。私たちは、国分寺市に移転して間もない会社でございましたので、まずは私たちのことを知っていただきたいとの思いから、この推進協議会に参加させていただいたということでございます。この1年間、「居宅介護支援事業所こみっと」を運営してまいりましたので、まずは「こみっと」の取組についての御紹介も含めて、小見よりお話しをさせていただきます。

小見委員：改めまして「居宅介護支援事業所こみっと」で管理者をしております小見秀一と申します。よろしくお願ひいたします。

まず、皆さんにお伺いしたいことがございます。ケアマネジャーの仕事って、皆さん、どういう仕事をやっているか、たぶん御存知の方も多いかと思いますが、知らない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。介護が必要になった、介護をする上で困ったときに相談する人、とされている方が多数いらっしゃるのではないかと思います。医師や看護師、保育園・幼稚園の先生については、全世代の方々が、その仕事内容を理解されていると思いますが、介護の仕事は少し暗いイメージがあるために、地域の皆様にとって御理解を難しくしているのではないかと感じています。更に、ケアマネジャーの仕事内容は分かりにくいのではないかと思います。

今後、弊社の教育部門やパンフレットにも書いてありますように、「なんでも相談室」について活動していく中で、お子様の世代からも、介護の事やケアマネジャーの仕事を知っていただけるような取組を目指してまいりたいと考えています。そして、可能な限り住み慣れた地域で生活し続けていくために、介護をされている御家族がやりがいを持って楽しみながら、地域での生活を送り続けられることを目指していきたいと思っています。その為には、本日ここに御参加されている皆様と様々な連携を図りながら、国分寺の住民の方が最後まで住み続けたいと思える地域づくりに向けて、地域の一員となれますよう取組を進めたいと考えています。

「居宅介護支援事業所こみっと」は、お配りしたパンフレットのとおり、三つの思いや考えを持ち、地域の皆様への貢献に少しでもつながりますよう、介護保険サービスにとらわれず、常に利用者様を中心に事業を進めております。男性2名と女性2名のスタッフは、40歳代から60歳代まで幅広い年齢層で構成しており、やりがいを持って生き活きと働ける事業所です。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

田中委員：だいが緊張されておりましたね。

小見委員：緊張しました。

田中委員：緊張していたそうです。以上、「居宅介護支援事業所こみっと」の取組についてお話しさせていただきました。最後に、まとめといたしまして、弊社、昨年6月から居宅介護支援事業所とともに福祉用具事業所を始めさせていただいております。現在、居宅介護支援と、福祉用具の2つの介護サービスを御提供し、介護分野の支援というところで、事業活動を行っている会社でございまして。まずは、私田中と管理者小見の顔と名前を覚えていただきまして、国分寺市には、こういった思いを持った企

業があることを御理解いただけたら、本日お話しさせていただいた機会を大変嬉しく思います。ぜひ、覚えていただければと思います。

弊社は、もともと教育サービスの分野で人材提供の事業を行っており、ということをやっており、現在三千数百名の登録者がいろいろな地域にあります。それが実質的に、国分寺市に何か役に立つのか、まだ不明なところもございますけれども、皆様とこのように集まらせていただき、活動を知る機会をいただくことで、いろいろなところが手と手をつなぎ、市民の方へ提供できるものがあるのではないかと考えています。そういったところでも、私どもの企業が役に立てる活動をこれからも進めていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。

会長：田中委員，小見委員，ありがとうございました。何かご質問等はございますか。続きまして，社会福祉法人はらからの家福社会の作道康介委員，シート集は33ページ，パンフレットは⑤です。よろしくお願い致します。

作道委員：はらからの家福社会，作道康介です。どうぞよろしくお願い致します。皆様からの本当に素晴らしい御発言を伺い，大変勉強になりました。恥ずかしながら，初めて聞く話もたくさんありました。国分寺市で長く活動しておりますが，本当にまだまだいろいろな活動や取組があるのだなということを感じました。取組シートの中で，「つながり」といった表現がたくさん出ておりましたが，新型コロナウイルス感染防止策を講じた活動の中で，とても大切なことだと改めて感じているところです。ですので，様々な場において私の知らない活動を伺い，つながらせていただきながら，私たちの歩みを進めていきたいと思っております。まずは，感想から失礼いたしました。

私からは，はらからの家福社会の簡単な御紹介と日々の取組において気づいたことを中心にお話ししたいと思います。お手元の，はらからの家福社会の法人パンフレットを御覧ください。はらからの家福社会は，沿革としまして，1981年の開設から40年，国分寺市で取組を進めてまいりました。主に精神障害をお持ちの方の地域生活にかかわるサポート支援を行っております。

大きく四つの柱があり，まずグループホームは，居住支援として住む場所の支援を行います。併せてショートステイを行っており，精神科に長く入院している方が，退院にあたって地域生活の体験を目的としています。続いて「地域生活支援センタープラッツ」は，相談する場所であり，「さつき共同作業所」は，通う場所です。最後に法人の独自事業である「ネットワーク推進事業」は，法人が外とつながり，ネットワークを作る事業です。この四つの事業を中心に取組を進めております。私の話は，これで半分くらいまで来たのですが，まだ思ったより時間がたくさんありそうです。法人の御紹介については，いろいろ細かくたっぴりになってしまうので，このくらいにいたします。

続いて，取組シートの活動の振り返りとして書かせていただいたとおり，支援の中で日々感じていることとお話ししたいと思います。新型コロナウイルス感染防止策を講じた活動を行う中でこそ見つめることができたもの，向き合い，見つけ出すことができた新たな可能性についてお伝えします。

エピソードから御紹介します。これまで私たちが支援を行う上で，ずっとイメージしてきたことは，利用される方とのかかわりにおいて，近い距離感で寄り添い，支援するというイメージに基づき，取り組んできました。この2年間のコロナ禍における取組において，これまでの在り方を見つめ，捉え直し，新たなかかわりを検討するきっかけとなるような状況が生まれています。

利用者の方のお宅やグループホームへの訪問による支援や，来所された際の面談による支援における感染リスク軽減を目的として支援頻度を調整し，支援の時間を減ら

さざるを得なくなりました。対面による支援を減らすことへの心配がある中で、支援時間の減少に伴って利用者の方に新たな時間が生まれたことで、活動の幅が広がり、活動量が増加する、などの変化がありました。これまで必要とみられてきた支援の量を見直すきっかけや、気づきを得ることとなり、支援のあり方を捉え直し、向き合う機会となりました。

また、お金や通帳を預かるなどの金銭管理として、お金のやりくりを学び、一緒に取り組むサポートを行っています。この支援において、感染リスク軽減のため来所回数を減らし、本人自身による管理に変更した方がおられました。当初、とても心配がある中で始めたのですが、懸念された課題が発生することなく、本人による管理が行われました。本人の抱える課題への支援の必要性を踏まえると、心配や懸念など不安があり、支援の軽減には躊躇がありました。本人の可能性に気づき、引き出すことができたと感じています。

最後に、グループホームへの入所支援にかかわって、お話ししたいと思います。精神科に10年以上御入院され、地域に出ることが不安で退院を拒んでいたところ、コロナ禍の中で病院にいることに不安を感じ、退院支援の相談となりました。考え方もきっかけも様々ですが、コロナ禍が、自分の新しい可能性と向き合うきっかけになったと気づかされました。

今後も、感染防止策を講じた取組を続けていく必要があります。これまでの取組や、大事にしてきたことと向き合いながら、必ずしも以前どおりに戻すだけでなく、元のかたちは大切にしながら、新しい可能性の発見や気づきを活かした支援を進めていきたいと強く感じております。以上です。ありがとうございました。

会長：作道委員、ありがとうございました。何かご質問等はございますか。では、以上で次第2を終了いたします。次第が順調に進んでおまして、少し早めな終了となりそうな感じです。では次第3に進みます。事務局より説明があります。

3 令和4年度国分寺市地域福祉推進協議会委員への御継続及び候補者の御紹介について

事務局：事務局を務めます地域共生推進課地域づくり担当係長渡部と申します。それでは資料4「国分寺市地域福祉推進協議会委員募集中」チラシを御覧ください。

本日の第2回地域福祉推進協議会をもって、今年度の全体での活動は終了となります。1年間、本協議会への御参加を賜り、誠にありがとうございました。今年度は2回の開催でございましたが、新型コロナウイルスの感染状況に応じた様々な工夫を講じながら、継続した取組に御尽力されている委員の皆様の御活動内容や思いを交流し、共感し合う貴重な機会となりました。改めまして、皆様の御理解御協力に感謝申し上げます。

人と人がつながり、支え合う地域共生社会の実現に向けて、市では令和4年度に重層的支援体制整備事業の準備を進め、令和5年度から本格的実施を予定しております。事業の中では、地域活動の情報交流やつながりの場などが非常に重要だとされております。今後も、有意義な時間となりますよう、地域福祉推進協議会の取組を推進してまいります。引き続き、委員として御参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。なお、3月上旬には御応募・御推薦のお願いを書面等によりお送りいたします。併せて3月15日号市報、市ホームページ等に記事を掲載し、皆様の取組の御紹介をしながら委員御応募を呼び掛けてまいります。お知り合いで、本協議会に御関心をお持ちくださる方を御紹介いただけますと幸いです。

令和4年度第1回地域福祉推進協議会は、次第下段のとおり、令和4年6月29日（水）午後2時リオンホールにて開催予定です。是非、御参加のほどお願いいたします。事務局からは以上です。

会長：本日の次第は、これにて終了でございます。今年度の協議会は、本日で終了となりますので、ここで、一言、正副会長の挨拶をさせていただきたいと思っております。

皆様、1年間ご苦勞様でございました。会の開催は2回でございましたけれども、ただいま事務局の方からお話ございましたように、この間のコロナ関連の取組、それから、御意見アンケート等と、幾つかのレポートの提出がございました。しっかり集約をしていただきまして、いつもよりは逆に全委員のお考えがその中に反映されていたのではないかと思います。

足かけ3年にわたるコロナ禍が、おそらく皆様方の活動を、或いは、事業に、計り知れないダメージを与えているのではないかと感じております。1日も早いコロナ脱出を念じて、ダメージを取り戻し、本来の目的にまい進できることを願ってやみません。

また引き続き、皆様とお会いできることを願ひまして、会長解任の挨拶とさせていただきます。また、原、宮崎正副会長は、この4年間仰せつかり、務めてまいりました。在任中のご支援、御協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。それでは、宮崎副会長から挨拶をお願いします。

宮崎副会長：皆様、一年間地域福祉推進協議会にご参加くださり、誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症がまだ収束の兆しが見えない中、令和3年度の本協議会も、第1回目を7月1日、2回を本日無事開催することができました。今年度は、新たな重層的支援体制整備事業全体についてのイメージを委員相互で共有いたしました。また、中期の地域福祉計画実施計画の達成状況の評価票報告書に対して、委員の皆様から出されたご意見や感想は、是非今後の計画に反映させていただきたいと思っております。

本協議会の取組である地域福祉の推進は、身近な地域で人と人がつながり、支え合う活動をとおして、個人や団体が共に課題を共有し、国分寺の地域づくりの担い手を育成していくことです。本日は6人の委員の皆様、長引くコロナ禍の中感染対策を行いながら自らの目標に向かって地道に地域活動に取り組んでこられた素晴らしい活動報告をしていただきました。大変有意義な時間を共有することができました。誠にありがとうございました。

令和元年度から、国分寺市の委託により配置された地域福祉コーディネーターも、地域にくまなく足を運び、地域住民の声を聞きながら、個人や団体、関係機関と連携しながら地域の情報共有と課題解決のために奮闘くださっています。今後も、誰一人取り残すことがない地域共生社会の実現を目指して、委員の皆様と共に国分寺の地域づくりの為に頑張っていきたいと思っております。

最後に、本協議会の議事進行を務めてくださった原会長を始め、参加くださった委員の皆様、開催にご尽力いただいた事務局の皆様、心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。以上でございます。

事務局：原会長、宮崎副会長、1年間、大変ご尽力いただき、誠にありがとうございました。皆様、改めまして拍手をお願いいたします。本日は、これにて閉会となりますが、会場は15時半まで利用可能ですので、お時間が許す限り、是非この機会に、委員の皆様同士の交流の時間にしていただければと思います。活動報告など御興味をお持ちの委員様同士でお声がけをいただければと思います。本日はありがとうございました。

閉会 午後3時10分